



九州大学
人社系協働研究・教育コモンズ

人文科学研究院／人間環境学研究院
法学研究院／経済学研究院

オムニバスセッション 知の形成史

【ハイブリッド開催】

第20回 2026 9/14 [月] 14:00～

会場 …九州大学中央図書館 4階 Sky Cute. Commons
Zoom (オンライン併用)

どんな分野でもそうですが、「人文社会系」、もっと大きく「文系」としてくられる学問の中にも、多様な方法と目標・関心を持つさまざまな研究領域が広がっています。しかし、それぞれの研究領域は、初めから現在の形で個別に独立して存在していたものではありませんでした。そこには少なからず、人々の知的好奇心に導かれながらも、時代の移ろいや、それにともなう社会の要求にも応答して分化してきた経緯があります。

本シリーズではいま一度、それぞれの領域の「出来(いでき)はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。

ホール・アンドリュー 反乱と良心 —1968～1970年の 九州大学学生運動と教員たち

九州大学 比較社会文化研究院
准教授 文化空間部門

1968年6月、米軍ファントム機が九州大学に墜落した。板付米軍基地(現福岡空港)に隣接する九大では、ベトナム戦争の激化とともに毎日米軍機が轟音を響かせており、基地撤去を求めるデモに総長らも加わるという、他大学には見られない光景が生まれた。本発表では、資料調査と当時の元学生・教員60名以上へのインタビューをもとに、逮捕も辞さない覚悟で闘った学生たちの思いと、大学自治・学問の自由・予算削減の脅しのはざままで苦悩した教員たちの姿を論じる。逮捕・起訴された学生たちの裁判は1980年代まで続き、その後の人生にも大きな影響を与えた。また、1969年10月の機動隊導入以降、大学の雰囲気と政策がいかに変容したかについても触れる。

【聞き手】木村 政伸 西南女学院大学教授

佐喜本 愛 九州大学基幹教育院准教授

【司 会】木下 寛子 九州大学人間環境学研究院 准教授

参加申込

下記サイトへアクセスの上、事前登録をお願いします。Zoomでご参加の方には折り返しアドレスとパスワードをご連絡いたします。
https://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_41.html ▶



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

【主催／お問合わせ】九州大学人社系協働研究・教育コモンズ Email: enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp
【共催】九州大学社会連携推進室 科学コミュニケーション推進グループ、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構、九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻
【後援】九州大学法文学部創立100周年記念事業実施委員会